

## 《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No.	2901
----------	------

## 科目概要記入欄

1. 開設大学	島根県立大学		開催方法	■対面（ 浜田キャンパス ）	
				□オンライン（同時・録画・資料提示）	
				□その他（ ）	
2. 正式科目名 副題	グローバル市民社会論			配当年次	2・3・4
				受入学年	2・3・4
学問分野	番号	25	名称	社会科学系 社会学・社会福祉学	
3. 担当教員名	足立 治郎				
4. 単位数	2単位	5. 開講学期	前期集中		
6. 開講期間 曜日・時間	2025年 9月 2日（火）～ 2025年 9月 5日（金） 曜日 : ~ :				
7. 基礎知識の有無	・「基礎知識を必要としない科目」				
8. 募集人数	人	9. 選考方法			
10. 科目内容・ 授業計画	<p>本授業では、経済・社会のグローバル化が進展する中、国内外で関心が高まっているグローバル市民社会の理論と実際、可能性と課題を学ぶ。具体的には、まずグローバル市民社会の基本概念・理論を俯瞰し、次に、グローバル市民社会の担い手である非国家の市民社会組織（NPO・NGO）の実際を、国家・国家間国際機関（国連等）・企業等との関係性に留意しつつ、紹介・解説する。さらに、環境・人権・貧困等のグローバルな社会課題に対する市民社会組織（NPO・NGO）及び市民個々の具体的な取組事例を把握・理解を深める。最後に、グローバル市民社会の可能性と課題を、その構成員である個人の可能性と課題に引き付けつつ、検討する。本授業の履修を通して、</p> <p>①グローバル市民社会を理解するための基礎的知識、 ②社会課題解決を考えるための応用的知識、 ③社会参加のスキル・方法に関する知識を身につけ、自分の言葉で説明することができる。</p> <p>【グローバル市民社会の理論・全体像】（1日目） 第1回「グローバル市民社会の理論・全体像① 導入-グローバル市民社会の基本概念」 第2回「グローバル市民社会の理論・全体像② 市民社会組織（NPO・NGO）とは何か」 第3回「グローバル市民社会の理論・全体像③ 海外における市民社会組織の発展」 第4回「グローバル市民社会の理論・全体像④ 日本における市民社会組織の発展」</p> <p>【市民社会組織と他のセクター】（2日目） 第5回「市民社会組織と他のセクター① 市民社会組織と企業」 第6回「市民社会組織と他のセクター② 市民社会組織と国家・行政・政治」 第7回「市民社会組織と他のセクター③ 市民社会組織と国家間国際機関」 第8回「市民社会組織と他のセクター④ 市民社会組織と市民・メディア」</p> <p>【市民社会組織と社会課題】（3日目） 第9回「市民社会組織と社会課題① 貧困・人権・ジェンダーと市民社会組織」 第10回「市民社会組織と社会課題② 環境・災害と市民社会組織」 第11回「市民社会組織と社会課題③ 健康・保健・医療と市民社会組織」 第12回「市民社会組織と社会課題④ 地域活性化/地方創生と市民社会組織」</p> <p>【グローバル市民社会の今後】（4日目） 第13回「グローバル市民社会の今後① 今後の可能性」 第14回「グローバル市民社会の今後② 今後の課題」 第15回「グローバル市民社会の今後③ 市民社会組織への参加（就職も含む）の可能性」</p> <p>授業の中で、グループ作業による市民社会組織（NPO・NGO）実践例の調査・発表の機会も設ける。なお、参加する学生の興味・関心により、授業内容を若干変更する可能性がある。</p>				
11. 試験・評価方法	最終レポート50%、授業中に記述するミニレポート50%、授業での発言・発表で加点				
12. 別途負担費用					
13. その他特記事項	<p>テキストは逐次配布</p> <p>【参考文献】 P・F・ドラッカー著「非営利組織の経営-原理と実践-」（ダイヤモンド社）</p> <p>【その他】 担当教員（NPO・NGO事務局長）の政策担当者・企業等との連携・働きかけの経験も紹介</p>				
14. 社会人受講	科目等履修生（単位付与）として受け入れ			可	否
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ			可	否